

照明設備に係るエネルギーの効率的利用(ポイントの面積加重平均と最終ポイントの算定)

項目	措置状況	配点	得点	措置の概要	備考	
(1)照明器具の照明効率	光源の種類	蛍光灯ランプ(コンパクト型の蛍光灯ランプを除く。)	総合効率が100lm/W以上のものを採用	12	-	「総合効率」とは、蛍光灯ランプの全光束を蛍光灯ランプと安定器の消費電力の和で除した数値とする。
			総合効率が90lm/W以上 100lm/W未満のものを採用	6		
			コンパクト型の蛍光灯ランプ、メタルハライドランプ又は高圧ナトリウムランプを採用	6		
			LED型ランプを採用	6		
			上記に掲げるもの以外	0		
	照明器具の器具効率	下面開放器具	0.9以上	12	-	1 「器具効率」とは、照明器具から出る総光束(単位 lm)を蛍光灯ランプ、メタルハライドランプ又は高圧ナトリウムランプの定格光束(単位 lm)で除した数値とする。 2 「下面開放器具」とは、下面にカバー等が付いていないものをいう。 3 「下面カバー付器具」とは、下面に透光性カバーが付いたものをいう。 4 採用した主要な器具1種類を選択する。
			0.8以上0.9未満	6		
			0.8未満	0		
		ルーバ付器具	0.75以上	12		
			0.6以上0.75未満	6		
0.6未満			0			
下面カバー付器具		0.6以上	12			
		0.5以上0.6未満	6			
	0.5未満	0				
	上記に掲げるもの以外	0				
(2)照明設備の制御方法	7つの制御方法のうち3つ以上を採用		22	-	7つの制御の方法(カード、センサー等による在室検知制御、明るさ感知による自動点滅制御、適正照度制御、タイムスケジュール制御、昼光利用制御、ゾーニング制御及び局所制御のことをいう。)	
	7つの制御方法のうち1つまたは2つを採用		11			
	上記に掲げるもの以外		0			
(3)照明設備の配置、照度の設定並びに室等の形状及び内装仕上げの選定	照明設備の配置、照度の設定	事務室の用途に供する照明区画の面積の9割以上に対してTAL方式を採用		22	-	「TAL方式」とは、タスク・アンビエント照明方式をいう。
		事務室の用途に供する照明区画の面積に対して5割以上9割未満に対してTAL方式を採用		11		
		上記に掲げるもの以外		0		
	室等の得以上の選定	室指数が5.0以上		12	-	室指数 $k=X \times Y / H \times (X+Y)$
		室指数が2.0以上5.0未満		6		
		上記に掲げるもの以外		0		
	内装仕上げの選定	天井面の反射率が70%以上、かつ、壁面の反射率が50%以上、かつ、床面の反射率が10%以上		12	-	「反射率」とは、天井面、壁面及び床面における個々の部材の反射率をそれぞれ面積加重平均したものとする。
		天井面の反射率が70%以上、かつ、壁面の反射率が30%以上50%未満、かつ、床面の反射率が10%以上		6		
		上記に掲げるもの以外		0		
	照明区画の面積 * 1,936.40 m <sup>2</sup>		ポイント(点数の合計)	(A) 39	$(41 \times 384.00 \times 4 + 41 \times 308.00 + 12 \times 92.40) / (384.00 \times 4 + 308.00 + 92.40) = 39$	照明区画が二以上ある場合は、照明区画毎に別葉で作成し、*を記入する。
		補正点	(B) 80		照明区画が二以上ある場合の**は、照明区画毎のポイント(A)の合計を面積加重平均した数値とする。	
		ポイント ** (A)+(B)	119			